



発行日：令和3年12月

発行者：平井地区民生委員・児童委員協議会 会長 那須和夫

「発達障害」を理解する 主任児童委員 土屋基巳

さる10月15日の定例会で東山公民館講座「ひまわりサポートーズクラブ」の西由美さん（平井在住）より会の活動と「発達障害」について学びました。西由美さんは平成21年、平井小学校支援学級「ひまわり学級」の保護者数名で、もつとわが子の発達障害について知りたい、語り合いたいといった思いから発足しました。毎週第4木曜日の午前に定例会を行い講演会や勉強会、子どもの成功体験を増やすイベントなどを開催しています。

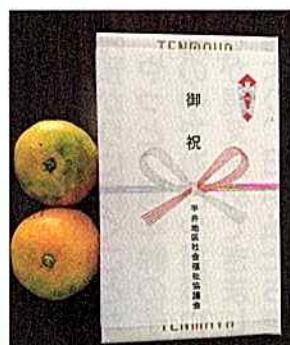
「発達障害」とは「発達障害者支援法」では、「自閉症、アスペルガーアー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義づけています。原因はまだはつきりしていません。脳機能の働きに生まれつきの特徴があると本人の努力不足などが原因で誤解している人も少なくないです。また発達障害の方やしつけの悪さ、本の努力不足などが原因で誤解している人も少くないです。



人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられる」という子どもたちの暮らしと福祉の向上に努力していきたいと思います。児童は、障害の有無に関係なく誰もが地域社会の中で幸せになるためには、まずは私たち一人ひとりが障害への正しい知識を持ち理解することが重要であると感じました。「児童は、

障害は外見から分かりにくいため、本人の困りに気づいたり理解したりすることができます。西さんは講話の中で、一人でも多くの方々に発達障害を知つてもらいたい、発達障害の子どもたちのことを理解してほしいと話されていました。

7月の定例会で、日本赤十字社岡山県支部の方々のご指導の下、一次救命処置の講習を受けました。もし自分が傷病者に出会つたら、「苦しんでいる人助けたい」と願います。その願いを行動に移す自信と勇気を持つために、救急法を学び、正しい知識と技術自身に付けておくことが必要です。岡山市内の場合、救急車の出動を要請して現場に到着するまでの時間は、約8分だそうですが、この8分間、その場にいる人が適切な処置ができるれば、尊い命を救うことができるかもしれません。



救急法講習会

子育てワントピント



「体験こそ学び！」

子どもがテストを見せた時、①「わー、偉いね、90点も取ったね」②「偉かったね。見たいテレビを見ないで頑張ったね」と親が言ったとします。①は結果としての点数を褒め、②は自分の目当てに向かって頑張った努力を褒めているのです。

親は、気付かないうちに結果だけを重視したり「早く！」を繰り返したりします。子どもはもたもたしたり、行ったり来たり、失敗したりと一見無駄のように見えることを通して実際に多くのものを学んでいます。目標に到達するまでの姿を大事にしたいと思います。

また、体を使いながら泣いたり、笑ったり、怒ったり、協力したり、汗を流したり・・・して取り組んだものは単なる知識とは違い、生きる力となってその後の子どもの生活を支えます。その過程に人ととのふれ合いがあるかどうかはさらに大切です。人とどう付き合っていくかは、理屈ではなくふれあいの中で自分の体全体で学び取るしかないからです。

敬老の日おめでとう！

平井学区の活動を支える「縁の下の力持ちさん」

2年間コロナの影響で中止されてきた夏祭りの盆踊りを太鼓で盛り上げてくれる方々です。今回インタビュートした湊町内の宰田将宏さんからお話を伺いました。

Q.. 太鼓の練習はどのようにやっていますか?

A.. 岡山に居るのは2人なので、練習は2人でメンバーの家で行っています。就職を機に行つたメンバーがいて、一緒に練習できませんが、お祭り当日の予定が合えば、大阪から帰つてもらつて一緒に叩きます。

Q.. 夏祭り時の練習はどのようにやりますか? また、どんな所で太鼓を披露しましたか?

A.. 練習は春前から毎に1~2回程度、体力作りと盆踊り曲の練習をしています。長年叩いていて、体に染み込んでいるので感覚を思い出すのがメインです。これまで、平井や湊、七日市、中島町など声のかかる町内の盆踊りで叩いています。

Q.. 口口ナ禍でも技量をキープする秘訣は?

A.. いつも練習してるので、特に秘訣といったものは無く技量をキープできています。

Q.. 太鼓を叩くきっかけは何ですか?

A.. 小学生の頃、湊町内の秋祭りでだんじりの太鼓を叩いていたところを先輩メンバーに勧誘され、平井の夏祭りでも叩くようになりました。

Q.. その他お話しいただくことがありますか?

A.. 太鼓を叩くこと自体も楽しいのですが、それ以上に、太鼓を叩くことで少しでもお祭りが盛り上がれば嬉しいと思います。このようないご時世ですが、これから先もお祭りの盛り上げ役として楽しみながら太鼓を叩いていきたいと思っています。



2018年7月の平井夏祭り

ある民生委員のつぶやき

▼坂道を歩く方が足腰を鍛えられると聞いて、ビールの一缶も供えられない墓であれば、草に覆われた墓もあります。東山斎場が近いからか、坂の途中には多くの墓があり、休憩がてら墓石を眺めてみます。東山斎場

一見同じように見えてもそれ個性があり、「○○家の墓」「△△家累代之墓」など家単位の墓が多いようです。傍

らに「墓碑銘」。戒名に続き、俗名、没年月日、行年などがなくなった順に彫られています。彫り跡の新しいものは半年ばかり前の年月日で白く輝いています。苔むした何本もの墓石がぎっしりと並んでいます。彫り跡の新しいものは半

年ばかり前の年月日で白く輝いています。苔むした何本もの墓石がぎっしりと並んでいます。彫り跡の新しいものは半

▼3歳の孫に妹ができました。母親は、妹の世話に追われ、3歳の孫の世話は私たち夫婦が手伝うようになりました。最初は、公園や子育て支援センターに連れて行きました。毎日予定を決めては出かけ

た。その後、幼稚園に行つても、午後からどう過ごすかが家族の課題です。幼稚園児の午後は、長い時間です。「一緒に遊べる友達が見つかることいいなあ。」我が町内には公園がないので「公園ができるといいな。」など、孫の成長を楽しみながら話題はつきません。また、遊び場所や同年齢の子どもさ

といいなあ。」我が家が

急事態宣言中は公園もセンターも閉鎖になりました。行くところもなく、毎日家中

が周辺での遊びで時間を過ごすことになりました。だんだん

息子夫婦は心配になりました。しかし、コロナの影響で緊急事態宣言中は公園もセンターも閉鎖になりました。行くところもなく、毎日家中が周辺での遊びで時間を過ごすことになりました。だんだん

をしていけるのを応援したりしてにぎやかじやつたのに

なあ。わしらも、まだまだ

元気でおらにやいけんがよんなら」と言うようになり、

「おえんで」「なにし

あ」と、夫のつぶやきが聞こえました。